

そよかぜ通信

第271号

発行

2023年1月

社会福祉法人 調布市社会福祉事業団
調布市知的障害者援護施設そよかぜ 施設通信
〒182-0032 調布市西町290-4
TEL 042-481-7663
FAX 042-481-7074
URL <http://www.jigyodan-chofu.com/soyokaze/>
ホームページではカラーで掲載しております。是非ご覧下さい。



クリスマス会

サンタ仮装で気分も
上がります🌟

Merry Christmas とみんなで乾杯🎵
おいしいケーキに笑みがこぼれます🌟三

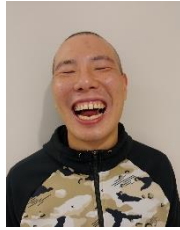
素敵なたなかいさんも登場♥



☆今月のキラリ☆一番星!

今月のキラリ☆一番星は、Yさんです!

大きな富士山と▲



お仕事も頑張ってます



実習生が来ていました

社会福祉士の資格を取るために、利用者さんの支援や、作品の成形まで頑張ってくれました。



新?職員よりごあいさつ おかえりなさい!

埼玉に引っ越して、1年半が過ぎました。夏はとても暑く、冬はとても寒い土地です。街中をプラプラ歩いていると、調布の仲間に似ている人に遭遇したりします。調布に住んでいた時は、すぐそばに仲間がいてくれて、ケラケラと笑って過ごす事ができていました。人の温かさを感じる有り難さ、素晴らしい! 調布、好きだなあ〜と、実感する今日このごろです。そして、一生青春を送りたい私です。何卒よろしくお願い致します。

清水 貴子

そよかぜとはこんなところ



そよかぜは、知的に障がいのある18才以上の人が自宅やグループホームから平日の日中に通所し、午前は織物、陶芸等の作業、午後は運動や学習、クラブ活動などの各種の活動をして、地域で地域の社会資源を使いながら生活を送る為の通所施設です。



職員リレーコラム♪明日は明日の風が吹く?!

「自己紹介」

本間貫太



11月より「そよかぜ」の職員になりました、本間貫太（ホンマカンタ）と申します。今後ともよろしくお願ひします。挨拶はここまでにしておき、軽く自己紹介と最近ハマっていることを話したいと思います。高校では音楽に没頭し、大学ではマーケティングや消費者心理を学び、大学卒業後、就職した私は、社会人としての時間感覚の難しさに悩みました。毎日残業3時間、拘束時間12時間、隔週土曜も仕事があり、何のために働いているのか分からなくなりました。そこで家族に重度知的障害者がいたため、幼少期から身近であり、やりがいを求めてこの職業に転職しました。ここで話が変わりまして、最近ハマっていることですね、社会人時代より時間の余裕が出来たことで様々なことにチャレンジする事が出来ました。「ラーメン食べ歩き」「楽曲制作」「夜更かししてゲーム」特に最後の「夜更かししてゲーム」は最高に気持ちが良い。若干の罪悪感を覚えながらも、翌日の疲れを気にせず没頭するのです。「ポケモン」です。一期一会の出会いの中で、出会ったポケモンと愛情をもって共に戦う。人生の縮図の様な魅力を持った世界をオープンワールドでプレイできるのです。魅力的ではありませんか?これが大学で学んだダイレクトマーケティングです。



平原画伯作